

何気なく持ち歩いている長傘、持ち方や雨の日の“たしなみ”について意識されていますか？

駅の階段で長傘を水平に持ったまま歩く人を見掛けることもあります。無意識のうちに周囲の人に危害を加えてしまう可能性もあります。

本号では、雨の日を気持ちよく過ごすために、長傘のマナーについて再確認しましょう。

## 傘のマナーできていますか？ ～持ち方や歩き方のたしなみ～



### ◆傘の開き方：上に向けて開くとキケン！

#### 【×】傘を上に向けて開く

☞開く際に露先（骨の先端）が顔の高さにくるため、自分の顔をひっかいたり、周囲の人にひっかかたりすることがあります。ワンタッチ式は特にキケンです。

#### 【○】傘を斜め下に向けて開く

☞周囲を確認してから、傘先を斜め下に向けて開きます。

### ◆狭い道ですれ違うときは、傘をかしげる配慮を

#### 【×】特に何もしない

☞傘がぶつかったり、傘の雫がかかったりすることがあり、自己中心的な人に見えます。

#### 【○】傘をかしげる

☞傘がぶつかったり、相手に傘の雫がかかったりしないよう、相手と反対側に傘をかしげます。どちらか一方だけがするのはなく、お互いにするのが理想的！

### ◆傘の持ち方・持ち歩き方：傘先が当たらないように

#### 【×】傘の先が周囲に向いている

☞腕にかけた傘先が飛び出していたり、後ろの人に向いていたたり、小さな子どもに当たることもあります。特に階段はキケンです。

#### 【○】傘の先を下に向ける

☞傘の先を下に向け、人に向かないよう常に気をつけます。人とすれ違う際に、反対側にさっと傘を持ちかえることができれば、気配り上級者です。

# 東京都消費生活部の傘にまつわる注意喚起のツイートへ寄せられた声

◆都のツイートには、「水平に傘を持つ人、結構いる!」「抱っこ紐の子供の後頭部あたりなのが怖い」「日傘もちょうど目に刺さる位置なんですよね。日傘さしているときのマナーも注意喚起してほしい」などの声が寄せられています。



**危険**

DANGER



◆大人が持ち歩く傘の先端は、小さな子どもやベビーカーに乗っている赤ちゃんの目の高さと同様です。

◆2013年に東京都生活文化局が行なった「降雨時の身の回りの危険」の調査では、都内在住の3,000人のうち、42%にあたる1,260人がたたんだ状態の傘で“ヒヤリハット”や危害を受けた経験があったと回答。

## もし長傘を水平に持って歩行していた際に人にケガをさせてしまったら

※民法709条では「故意」または「過失」によって相手にケガを負わせた場合には、その損害を賠償する責任があると定められています。

長傘を水平に持って歩行していた場合には“人に当たるかもしれない”と考えるのが普通で「過失」が認定され、民事上の賠償責任が生じると考えられています。

### ～賠償の内容～

ケガの程度によりますが、主に医療費、休業損害、逸失利益、慰謝料などが想定されます。



傘の持ち方は法律で定められているわけでもなく、マナーの問題に過ぎません。横持ちをしている人も悪気はなく、無意識に何気なくやっている場合がほとんどだと思われま。しかし、自分が考えている以上に、その行為が人に危害を与える可能性があることは認識しておくべきでしょう。

傘を持つ時は、「雨具」であると同時に「先端の尖った棒」と考え、正しい持ち方を心がけたいですね。



## ★万が一に備える賠償責任保険

### ～個人賠償責任保険～

契約者や同居の親族が日常生活を送る中で他人にケガを負わせてしまったり、他人の所有物を壊してしまった時など、法律上の損害賠償責任を負った際に補償されます。

取り扱う保険会社や補償限度額によって保険料は異なりますが、保険料は年間3千円～1万円程度です。

詳しくは、弊社担当者までご相談ください!

弊社は損害保険会社7社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。

現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください!

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください!

“お客様アンケートのサイト”  <https://forms.gle/EXCkVdfkxmLLni7u7>



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。